

心とからだをリフレッシュ 家族介護者交流事業

在宅で介護をしている介護者同士の交流や心とからだのリフレッシュを目的とした家族介護者交流事業が9月26日、宮城県で行われ、9人が参加しました。当日は、仙台万華鏡美術館と秋保温泉ニュー水戸屋をバスで訪

れ、日ごろの悩みや介護に対する思いなどを話し合ったり、昼食や入浴、じゃんけん大会などで交流したり、みんなで楽しく癒しのひと時を過ごしました。次回は令和8年3月に開催予定ですので、ぜひご参加ください。



▶ 昼食を食べながら交流を楽しむ参加者のみなさん



▶ 認知症と関わる人の思いに触れる来場者のみなさん

認知症を考える オレンジ展・ライトアップ

9月の「世界アルツハイマー月間」にあわせ、認知症を考える展示イベント「オレンジ展inこおり」が9月24日から7日間、町民ロビーで開かれました。町内の介護事業所の利用者作品や活動風景の展示、認知症に関する

映像の上映、みなさんの認知症への想いを実らせた木などを展示しました。18日からは、旧伊達郡役所を認知症支援のテーマカラーであるオレンジにライトアップ。認知症への理解を多くの人に呼びかけました。

おもいやり運転で事故ゼロへ 桑折・国見・白石が合同街頭啓発

「秋の全国交通安全運動」にあわせ、桑折町・国見町・白石市の交通安全関係団体による合同街頭啓発活動「ふくしま・みやぎ県境キャンペーン」が9月30日、国見町国道4号上りチェーン着脱所で実施されました。この取り組みは、平成13年に国見町の国道4号で発生し、専門学校生3人が犠牲となった交通死亡事

故を教訓として始まり、継続的に交通安全の啓発を行っています。当日は、人垣作戦により「高齢者をやさしく守る運転を」と掲げたのぼりや、「飲酒運転根絶」のハンドボードを掲出。ドライバーに対し、桃グミや白石温麺など各市町の特産品を配布しながら、安全運転の徹底を呼びかけました。



▶ 活動前に挨拶を行う福島北警察署長と真剣に耳を傾ける各団体のみなさん